

## 日本鐵鋼協會記事

● **理事會** 6月6日(水曜日)午後4時30分開會 **出席者** 服部漸君、俵國一君、河村驍君、種子田右八郎君、渡邊三郎君、香村小録君、鹽田泰介君、**協議事項** A. 本會秋季講演大會開催準備に関する件、B. 會計上及會務に関する諸件、C. 入退會者承認 以上の通りにして午後7時閉會す。

● **編輯委員會** 6月6日(水曜日)午後5時開會 **出席者** 田中清治君、室井喜治馬君、三島徳七君、鹽澤正一君、**協議事項** A. 本會秋季講演大會並に研究部會開催準備に関する件、B. 鐵と鋼第14年第6號上梓原稿再調並第7號掲上原稿選定の件等にして午後7時閉會す。

### ● 入會者承認濟

居所或は宛名先	勤務先職業	會員別	氏名	紹介者
神戸市北野町二丁目 五六番地	川崎造船所葺合工場技 術顧問獨逸ドクトル	正	ヨハン、ドリーゼン君	桑田賢二 加藤榮
● 退會者承認濟	正會員	松坂善兵衛		

## 日本鐵鋼協會第十三回通常總會狀況 (其二)

### 晚餐會卓上演説速記 (三月三十一日)

○ **會長(鹽田泰介君)** 例に依つて5分間演説をお願いしたいと思います。

私は一昨年御推薦に依つて會長の任に就きまして、今日の總會に依りまして任期を満了いたしました譯であります、此間同僚諸君の御援助、會員諸君の御同情に依つて無事に任務を終りましたことを厚くお禮を申し上げます、甚だ無能でありまして何等會の進展に貢献することを得ませなんだのは甚だ遺憾に思ひますが、どうぞ悪しからず御宥恕を願ひます。

此間會誌に載せましたが、ちよつと申し上げますが、2年間河村前會長に何もかもやつて載きましたので、河村君は二代會長をやられると云ふやうな姿で、是はどうも皆さんの前に於て一つお禮を申し上げて置きます。

それから今度は服部さんが新しく會長に御當選になりましたが、服部さんは皆様御承知の通り斯界の長老であらせられまして、東京へ御在住でありましたならば疾うに會長になられた筈でありましたらうに、今日新に會長になられるのは不思議なやうな次第であります、此間の事情が左様な事情に至らしめたのでありませう、丁度此間の候補者を役員會で推薦すると云ふ時になりまして、御歸朝になるやうなことになりましたので、誠に勿極の幸として服部さんに御快諾を賜つた次第であります、候補者に推薦しまして、今日御當選になりましたやうな次第であります、是は私の會長とは違ひまして最も斯界に御造詣の深い方ですから會の進展も期して待つべしだと存じます、どうぞ宜しくお願ひします。(拍手起る)

○ **服部漸君(新會長)** 鹽田會長の任期満了に付きまして、後任者として私が御推薦に與りましたやうな次第であります、此鐵鋼協會が時勢の進運に従ひまして光輝ある發展を遂げやうとするには、私如き者が中々責任が盡せるかどうか甚だ覺束ない次第であります、殊に數年來内地を離れまして、最近漸く歸つて参りましたやうな次第で、一切の内地の事情にも甚だ疎く、此責任を果せるかどうか頗る覺束ないと恐縮に思つて居る次第であります、併ながら理事の方々並に役員諸君の御援助と又一般會員の御援助に依つて責任を果したいと思ひます、どうぞ何分宜しくお願ひ

たします、之を以て御挨拶と致します。(拍手起る)

○河村駿君 私は晝の講演に於て御喋を致しましたから今夕は御免を蒙る筈で御坐ましたが先程の鹽田會長の御挨拶に依り更に一言せざるを得なくなつたのであります、先程鹽田前會長は在任中何も致さなかつたとの御辭でありましたが之は誠に謙遜された御言葉でありまして會長御自身で細かな事務を取ると否とを會長としての職責上から申して一向差支ない事で要するに全體を通覽して御在任中の事業の Volume 如何に存ずる事と存じます鹽田前會長御在任中の事業は種々ありますが其内特に目立つた事項を擧て見ますと第一に本會第二回第三回講演大會を遂行した事で本會に於て兼て目的と致して居りました毎年一回東京又は地方に於て講演大會を開く事の希望が充實された譯であります、第二に本會の使ふたる鐵鋼業の發達助長を促進する主旨から第二回第三回講演大會の後に研究部會を開き討議研究の結果を公表して一般會員の參考に供した事でありまして將來之の例に依りまして毎年研究部會を開くの氣運が開かれたのであります、第三には本會の基礎を鞏固にする爲め昨年の總會に於て定款の一部を改正し新に維持會員制度を設け會員を募集せし處多數の申込がありまして本會事業の遂行上大に便利を得ました次第で御任期中の仕事の容量は決して歴代の會長時代と比較して劣つて居ないのみならず常に熱心に犠牲的に終始せられました事は一同と共に深く感謝する次第であります。

尙ほ一言附け加へて申しますならば本會役員の交迭に就きましては從來の例を見ますと初代の會長たる野呂博士以來會長の任期満了後尙ほ理事として其職に留まるの例でありましたが鹽田博士は此際理事に留まる事なく其職を退かれたのであります之は時代の變遷による事でありまして初代の野呂博士が會長任期後尙ほ甘じて理事の任に就かれた事も又鹽田博士の全然理事を退職されました事も何れも本會の現情を洞察して適切なる處置を取られたもので今回は新に服部會長を迎へて思ひ残す處なく其職を退かれたものと存じます尙ほ今後共鹽田博士には前會長として不相變本會の爲め御盡力を賜はられむ事を希望する處であります、次に服部博士は本邦製鐵鋼業に對し今泉香村兩博士と相並んで元勳であり又本會の創立者の一人であり且つ徳望の高い御方である事は申す迄もないのでありまして夙に本會々長として御就任を御願致す可き御方であつたのであります常々地方又は海外御在住の爲め延引して今日に至つたのであります今回御在京になりました結果誠に良會長を得ました事は本會の仕合之に過ぐるものはないのであります何卒充分役員並に會員に對し御指導あらん事を切望致す次第であります。

尙ほ本邦の製鐵鋼業も戦後久敷不振を續けまして何れの工場も經營困難を極めて居るのであります但し近來親敷各地の製鐵製鋼工場を拜見致しました處に依ると本日も申上ました通り經營上に於ても設備の改善充實並に作業上に於ても能率の増進及生産費の低減に向つて奮闘努力の跡が伺はれるのでありまして近來内地の生産が増加を見まして輸入防遏上多大なる貢獻をされて居るのであります併し之は獨り我國に止まらず歐米先進國に於ては已に從來我國より設備が優越なるに拘らず尙ほ近來一層著大なる改良充實が行はれて居る様でありまして米國は此點に於て資本の充實して居る國であるから最も思ひ切つた設備の改良をなすに恵まれた國であります但し戦後獨乙の疲弊に拘はらず之の改良の跡の著しきものある事は驚歎の外はないのであります獨り英國は其發達の歴史が古く現在の設備は遠の昔に消却をして居るので今日の設備は古く共生産費はそう高くないしかし何時迄も現状に甘じて居ては大陸の鐵鋼の爲めに壓倒される、恐れがある事は氣附いては居るけれど新しい設備をして資本を固定さすと之に對して消却もせねばならず又金利も嵩むから算盤が取れないと云ふので其儘に打放つて相變らず古い設備で仕事をして居る向が多い様であるが之は無論永遠の策ではない。

本邦は之に反し鐵の歴史が新しく八幡製鐵所でさへ創業後 27 年民間の製鐵所の出來てから多くは 10 年内外にしがならぬ加ふるに戦時中の建設で設備費が高く消却が充分出來て居ない其上に設備の改良を要する點が多々残つて居

るオマケに資本は不足で金利は高いから設備の改良をするには外國より不利の立場にある、しかし改良す可きものは改良しなければ將來外國と對抗出来ぬのである、これが對策は色々ありませうけれどもどうしても日本では之の資金を巧妙に使つて無駄の行かぬ様に心懸げればならぬそれは技術的研究を充分にし殊に國內の共同研究が必要で互に技術上の長所を交換して共同的に仕事をなし可成失敗を少くする即ち協同の力で外國に對抗する事が必要であると信ずる之の國內協同一致の事は私は數年來本會に於て機會ある毎に申述べて居るのでありますが重複を顧みず此機會に於て更に高調する次第で本會に於て研究部會を開き討議研究を行ふのも此主旨に外ならぬのであります。(拍手起る)

○今泉嘉一郎君 私共は最近數年來内地の同學諸君から製鐵鋼業の實際作業に關して幾多の調査研究の報告を伺ふ機會を得た、前からもさう云ふ機會は屢々あつたのでありますけれども、殊に最近數年以來は報告の量に於て著しく増して來たばかりで無く其内容の質に於ても益々品位を上げつゝあるやうに私かに感ずるのであります、私は一昨年10月獨逸のジュツセルドルフで開かれた鐵鋼協會の大會に臨みまして、色々の講演を聞いたのでございますが、此頃の我國の實際作業上の研究や報告は彼れに比して決して劣つて居ないと云ふ感じを持つものであります、殊に歐米諸國に於ける研究者は多少各自の國內の相互對象に囚はるるやうな感じがするが我國の研究者は主として世界各國を對照とするのであります、今日の鶴瀨君の御演説も同様に直ちに歐米の斬新施設を對象とし我が熔鑄爐の研究をなされたのである是と申すも大體我國が後進國であると云ふ關係から自然斯ふした立場で研究して行くのであります、夫れが却て我國の特長となるのであります、それから又學術的研究に就ても只今本多博士の御講演で承ると我國は決して外國に比して餘り劣らぬ成績を擧げつゝあると云ふことで、誠に愉快に堪へないことでもあります、斯様にして學術的にも實際的にも段々と研究が進んで參りましたことは將來此事業の發達に貢獻すること著しきものあるべきを思ふ次第であります、併ながら今日現在の鐵鋼業の状態に就て見ると各工場とも先程河村博士の御報告なされた通り其設備にも幾多改良の餘地を存して居り、加ふるに既成の設備さへまだ全能力を發揮して居らないものがある、勿論或工場では全能力以上に働いて居るものもありますが、今日まで投じた資本や壯大なる土木設備費などに對比するときには立派な成績とも云へないのである、又設備の一部は完全に働らいても他の一部は遊んで居るものが相當にある、今一段の資金や努力を捧げて整理したら生産も何割か殖えると云ふ位置に居りながら、其整理さへも出来なくて居る、他の一面を見ると澤山の技術者が毎年學校を卒業してもそれ等の多くが位置を得ることが出来ず遊んで居る、斯様に設備の方面に於ても知識の方面に於ても幾多の部分が遊んで居つて、ポテンシャルエナージとなつて潜伏して居りますが、是は餘り感じたことでは無と思ふ、併し是は如何とも仕方がない多くは一般の經濟状態と工業環境の缺陷から來ることと當事者の罪では無い、我々としては出来得る限り我々の責任範圍に於て一生懸命に實際的、並に學術的研究を遂げ、責任範圍外より襲い來る不利益を減少することを努めなければならぬ、そこで將來漸次經濟界の回復や環境缺陷の改善を相待つて、此ポテンシャルエナージをも大いに活躍せしめたいのであります、而して此環境缺陷の改良は何より先づ我國の産業政策に依らねばならぬ今夕は今回代議士として選ばれた我等の敬愛する横堀博士は此席に御見へになつて居ります、此點に付てどう云ふお考を持つてお出でになるか承りたいのであります。(拍手起る)

○横堀治三郎君 圖らずも本日は鐵鋼協會の總會に臨みまして、日頃御無沙汰をした身と致しまして色々有益なるお話なり、又御意見等を拜聴して私に取りましては誠に好機會を得たことと喜んで居るのであります、所が唯今泉博士から新代議士として何か考があるだらうが述べ、斯う云ふお話でありました、誠に意外千萬甚だ恐縮に存するのであります、實は私は斯う云ふ所に伺ひますのにも皆様方から専ら御意見、御苦心談等を伺ひまして、それを種と云つては語弊があるかも知れませぬが、それを唯一の強い材料として是から先き働く爲の材料にしよう、斯う考へて居るやうな次第でございまして、私から申上げることは何もない、今泉君の如き多年製鐵業に御經驗のある、又見識

を持つて居られるお方は是までの會長の諸君、又實際に携つて居る所の多數の會員諸君から偏へにお教を仰ぐと云ふより外ないのでありますが、折角の御指名でありますから此機會に於て不束ながら私の考へて居る所の一端を述べまして、何等かの御教授を仰ぎたいと存ずる次第であります。

私は大學の學生の時分には鐵をやつたのであります、鐵其ものには相當趣味を持つて居るのでありますけれども、其後直接學術に關する方は遠ざかつて居るのでありますから、最近の事情等は餘り辨へて居りませぬが、元來鐵に興味を持つて居ります立場から、及ばずながらも國家の製鐵事業、又其事業が國の爲に、詰り我々多數國民の爲にどんなに重大なる立場にあるかと云ふことは等しく苦慮して居る一人であります、本日こちらへ参ります前にちよつと横道をしまして上野の廣小路の所を横りまして、私は淺草の觀音様にお参りましたのであります、是は餘事を申し上げて基だ相濟みませぬが、私は人間は宗教觀念を持つて居らなければならないと云ふ強い感じを持つて居る一人であります、毎月一遍若くは二遍淺草の觀音様にお参りするのを唯一の樂みとして居るのであります、それは觀音様から御利益を戴かうと云ふ慾張つた考へはないのであります、自分の足りない所を觀音様に行つて、自ら戒めて勵むべき所は勵むと云ふ考の下に觀音様にお参りをするのであります、上野を通りました時に偶々今度の大禮記念國產獎勵博覽會ですが、其立札、又其前で大層景氣の好い所を見たのであります、そこで私は鐵を聯想して此所から不圖考へたのであります、定めし博覽會には多數の鐵の材料なり、又其材料を用ひて製作された所の工業品なり、其他色々の品々が出て居るだらうと思ひます、それに附けても其鐵の最も原料となるものはどんな風であらうか果して國產の獎勵の徹底して居るやうなものであらうかどうか、聞く所に依れば斯の如き原料の主なるものは即ち鐵鑛の主なるものは海外から仰いで居るやうに承知して居ります、私も何回か支那方面の鐵鑛地を歩いたのであります、又朝鮮、滿洲も覗いて居りますし、其外の事情も承知して居りますが、其國產獎勵が形に現はれた所はさうでありませうが、其因つて來る原料なるものは遺憾ながら原料を海外に仰いで居るのぢやないかと思ふのであります、唯今此處で大家さんから何へば今度の國產獎勵に付ては 50 % までは海外のものでも宜しい、後の 50 % が日本のものであればそれで其趣旨には適つて居る、大體の方針はそこに置いて計畫されたと云ふ風に聞きましたが、日本の今の事情としては或は已むを得ないでありませうが、併し望み得べくんば原料も矢張り日本のもので徹頭徹尾國產的の立場に早く努力するやうに致したいと思ふ、私の知つて居る範圍に於きましては、今泉博士はずつと以前にもう學校を出てから間もない當時のことであつたらうと思ひますが、皆さんか御案内の如く日本に澤山出ます所の硫化鐵鑛であります、多少の銅を含んで居ります、硫化鐵鑛を硫酸製造の方に用ひた其滓から所謂パープルシンダーでありませう、それを製鐵の原料にすると云ふやうなことで今泉さんは大いに研究されたのであります、私も其後同じ問題に付きまして多少意見を述べたこともありますし、今以て強い其論者であります、日本の官立製鐵所に於きましても、其ことに注意せられまして、段々パープルシンダーを使ふと云ふことに方針は向けられて居るやうでありますけれども、まだまだ此所には遠いやうでありますからどうか此國產獎勵を機會として……此博覽會に多くを望むと云ふことは或は誤つて居るかも知れませぬが、之を機會として其精神、主義政策と云ふものは一層具體化するやうに我々事業界の進運を期せねばならぬと思ふのであります、決して之を以て満足すべきものではない、之を以て誇り得べきものではない、之を單に動機として一層奮勵努力すると云ふことに努めなければ、外に於ては世界も進歩して行くのであります、日本ばかりが國產獎勵をやつて居るのではない、日本人は兎角名前に囚はれる嫌ひがあります、やあ國產獎勵だとか、やあ自給自足だとか云ふやうなことで、兎角誇りに誇張する嫌ひがありますが、外國では餘りそんなことは云はない、言はないが實際問題に於て其成績を期して居るのであります、でありますからどうか日本の將來としては一層不言實行的に其實績を期することに皆さん方の御努力を待つより外はないと思ふのであります。

甚だ長くなつたのでありますが、尙ほ此機會に於てもう一つ申上げて皆様方のお聽きを願ひたいと思ふのであります、私今度新代議士になつたのでありますが、誠に恐懼の至りに堪へないので、就きましては私の心持をお聞き取りを願ひたいのであります、今回立つた経路に付きましては改めて申すまでもなく此間の鑛業總會の時に大體は話しましたが、私は飽までも自分の立場を明かにすると云ふ精神を持つて選舉場裡に立つたのであります、決して代議士たらむとして政事の渦中に飛込んだのではないのであります、是は他の機會に於ても一層的確に皆様方のお合みを願ひたいと思つて居りますが、借今日の立場に於きまして實は色々の方面から代議士と云ふものを大層善いものやうに考へられまして、色々後で問題なども起ります、昨日も或人に訪はれまして其者と色々話したのでありますが、あなた、來られて私の所を態々訪ねられて私にお目出たうを言つて呉れるのは、之に對して充分の好意を持つて來て下さるのだらうけれども、併ながら私は斯う考へて居る、代議士になつて決して私は嬉しいとは思はぬ、若し代議士になつてそれが嬉しいと思ふやうな、所謂代議士と云ふ一つの職を得た、其身分を得たと云ふことを以てのみ唯喜ぶと云ふものでは、決して代議士の任務は盡せると思はぬ、代議士の任務と云ふものはもう少し尊いものだ、私は實は喜ぶどころではないのだ、代議士の當選通知を受けた其瞬間から實は非常に自分は心配して居るのである、どうしたら多數國民の……と云つては大きいかも知れないが、兎に角人の推薦に興つた立場として自分の職責を盡すことが出来るかと云ふことを非常に恐れて居るのである、實は苦んで居るのである、喜びを受ける所ではない、寧ろ自分としては非常に今惱んで居るやうな譯で、殊に自分の立つた選舉場裡と云ふものは農村とか或は漁村と云ふ、農村、漁村の實際の事情を見たり聞いたり、した自分の立場としては一錢一厘の金も空しくすることは出来ない、實に疲弊困憊に臨んで居る所の我々の同胞のことを考へると云ふと、東京の都に居つてから安閑として唯代議士となつたからと云ふて喜ぶべき考は毛頭起らぬ、従つて方々から或は寄附金だとか、或は何だとか云うて來るけれども、さう云ふものに中々金を投ぜると云ふ餘裕もなければ、又出來得ないのだ、だからどうか我々の境遇を察して呉れる、それから私は是から甚だ初終中苦んで居るのであるから能く察して同情して貰ひたいと云ふことで昨日も色々話したのであります、此事を話したら其人は誠に御尤もでございます、あなたの仰つしやることは能く分りました、私は其言葉を聞いて喜んで歸りますと斯う云つて快く歸つて呉れたのであります、私はさう云ふ立場に居ります、其考は私獨り代議士の何でもなし、總ての問題に付て考へなければならぬことだらうと思ひます、例へば此製鐵事業の如きにしましても、製鐵の事業が段々起り、日本でも段々進歩した、或は經濟上に於きましても亦は學術上に於きましても進歩したと云ふのはそれは結構でありますけれども其進歩した、或は發達したと云ふことを以て私は決して満足すべきものではないと思ふ、それを益々いやが上にも向上せしめて、多數國民の上に此製鐵の進歩、發達の利得が遍れく及ぶやうにするのが私は是が本當の我々の期待すべき所であらうと思ふ、海外のことが發達して行くと云ふのは即ち私は其精神である、決して是が其當時の状態を持つて喜ぶべきものではない、無限の努力と云ふものがそこに伴つて行かなければならぬと思ふ、でありますから是が鐵の方に就きましても或期間までは已むを得ないのであります、已むを得ないのであります、其期間を脱した以上は成るべく鐵を安くして、成るべく鐵の品質を良くして……本多博士の研究の次第もありましたが、不幸にして私は鶴瀨君のお話は聞き遅れたのであります、兎に角何れにしても矢張り之を人生の必要品として成るべく利用せられると云ふことが、効果を多くすると云ふことが何處の國でも考へて居ることだらうと思ひますから、どうか或時期は仕方がない、けれども必ず其時期で甘んずべきものではない、飽までも終局の目的に向つて無限の努力を拂はなければならぬものと私は考へるのであります、それは何の事業でもさうであるのでありまして、其點に於ては私は日本としては御同様一層考へなければならぬ事態が數々あるのぢやないかと思ふ、今回は又會長として服部博士を迎へたのは誠に結構なことでありまして、一層博士のお力、其他役員諸君の

御盡力に依りまして、さう云ふ氣運を早めるやうに御盡力あらむことを偏へに希望するのであります、ちよつと一言申上げて置きます。(拍手起る)

○白石元治郎君 御指名を受けまして甚だ恐縮の至りです立つことは立ちましたが、本會の如き斯道の權威者のみのお揃いの中で私の如き素人が何等申上げることばありませぬ、併し私も創立以來の會員で、近頃評議員の榮を擔ひました者でありますけれども、實は兩三年未だ曾つて出席いたしたことがありませぬ、本會に始めて出ましたと申すのは最も親しい御交誼を賜つて居る鹽田前會長竝に新會長の更造の際でもあるから敬意を表する爲に出て参つたのであります、然るに圖らずも御指名を受けまして何を申上げて宜いやら一向考へ着きませぬ、唯ちよつと素人の立場から思ひ付いたことを申上げて見ますと近頃私は斯う云ふ議論をします、御承知の通り鐵鋼業に従事して居ります立場にあつて彼是八九年過ごして居ります、どうかして日本の鐵鋼業を無事に成立つやうにしたい、是が國家に取つて必要なものであると云ふことは申すまでもないのでありますから、どうか完全なる獨立の立場に置きたいと云ふことで常に苦心をして居ります、然るに段々やつて見ますと技術家諸君の研究の結果に依りまして、日々に仕事も改良されて行き、生産費も下つて参ります、先づどうやら成立すべきものであると云ふ見當は私にも臆氣に知りました、併ながら先刻河村君の仰つしやつた通りに、我々其事業をやつて居るものは折悪しく最も物價の高い時代に工場を建設し、又取急いでまるで鐵や鋼の飢饉時に遭遇しました爲に必要上何でも早く拵へれば宜いと云ふ時代に工場を拵へた爲に餘計な資本を投し、それが今日完全に活動して居ない、又或部分は死藏されて居ると云ふやうな状態にあるのであります、之を早く生かして行くにはどうしても此上資本が要る、其資本を拵へるのに色々苦心をして居りますけれども、中々銀行、又は金融業者は金を貸して呉れず、株主も配當のない所に拂込をして呉れませぬ、今日各工場が自力で以て行けば極めて微々たる進歩しか出來ぬのであります、まさか死にも致しますまい、又各自に非常に努力し勤勉に事業をやつて行きますれば漸次發達は出來ると考へて居りますけれども急速な進歩は出來ない、併ながら急速な進歩をして外國と競つて行くだけの立場に行き得ないものであるかと云ふと行き得るものであると云ふことは見當が附いて居ります、それには資本が要る、是だけの問題になつて來て居ります、それをするにはどうするかと云ふと一番早い方法は關稅を上げて貰つて若干の利益を擧げ從て改良資金を得ることが最も容易い方法であると思ひまして、同志の人達と共に先年來歴代の内閣に關稅引上を請求して居ります、又親敷説明しますれば當局の人も諒解されて或程度までは増稅してやらうと云ふ心持を持たるのであります、乍去不幸にして政界激變の爲め内閣が短命にしてそれが今日まで實現されて居りませぬ、而して其間私は甚だ遺憾に感じますのは國民の或方面に於て、殊に有識者の或方面に於て我々が主張することは恰も我利的に徒らに國民に負擔を重くさせて、而して自己の利益を増加せむが爲に關稅増加を主張して居るかの如くに批評されることは誠に心外の至りであります、我々國民の一人として決して唯自己の懐を肥さうとしてやつて居るのではないのであります、此仕事をどうにか國家の必要に應ずる立場に置きたいと云ふ爲に誠心誠意盡力して居る、又其立場から斯様にして貰へば宜いと云ふことを申出て居るのであります、苦心研究の結果是が至當であらう、妥當であらうと思つて申出たことは恰も泥棒でもするかのやうに國民を欺いて、政府當局者を欺いて餘計の負擔を國民に課して、さうして各々の利益をしやう、と計る様に考へて居る人が澤山あります、殊に皆さんも御覽になつたかも知れませぬけれども、最近今泉君と私が東京日々新聞社に行つて、關稅關係のことを、あゝ云ふ社會に誤解のないやうにと思ひまして、約二三時間説明をして歸つて來たのであります、其事柄が新聞に出ました際に大阪に於て近頃起りました自由通商協會の或人が之に批評を加へられたのが大阪の毎日新聞へ數日續いて出て居ります、恰も我利的盲者が自己の立場を良くせむが爲に道理を偽つて國民を欺いて己の都合の好いことを云つて居るやうに批評して居る、何人が云つたのか某氏と云つて氏名も名乗らない甚だ卑怯な話であります、さう云ふやうな風

に世間が云つて居りますのは甚だ遺憾に思ひます、又翻つて考へますと是は其人の罪ではなくして、其人の無能無知の結果であると私は評したい、皆様様の御承知でありませうが、此席に居らつしやる方は鐵鋼の如何に大切であるかが、今に於て如何なる立場にあるかと云ふことは申さずとも御承知でありますけれども、社會多數の人は鐵と云ふものはどんなものか、鋼と云ふものはどんな風に来るか、無我夢中の人が多いのであります、私も十數年前此事業に注意するまでは同様であつた、私も高等學校以來の親友今泉君から度々説明を聞き漸く其ことが分つたやうな次第であります、分らぬ連中の多いのも無理もありません、又政府當局なり、代議士なりに行つて話して見ても分らぬ人が多くありまして、歴代内閣でも關稅問題をどうするかと云ふコンクルージョンに達するまでには極めて骨の折れる仕事であります、失禮な話であります、先生方に分るやうに教へるのは容易であります而して稍々分つて來た時分には内閣が更迭すると云ふやうな有様である、それで當協會は重要な鐵鋼に關する學術問題を研究なさる會でありますけれども、私が最も必要を感じましたのは日本の國民に鐵鋼とはどんなものであるか、鐵鋼工業とはどう云ふものであるか、鐵鋼業は我國に成立し得るか、成立つとすればどうすれば宜いか、今日國民として之をどう考へれば宜いかと云ふことを直ぐ分るやうに國民教育を此會でやつて戴きたい、それに付きましては先般河村博士がジャパントイムスのパンフレットにお出しになつた鐵と鋼の小冊子の如きは分り安く出來て居りますから小生は代議士諸君などに説明に行きました時に何十冊を配りましたこともあります、當協會又は博士諸君に希望しますのは餘り詳しいことは必要ありません、寧ろ簡にして分り易いものを發表して下さい、或は如何なる方法かに依つて、國民に鐵、鋼と云ふものを知らしめると云ふ方法をお取り下さることが、此鐵鋼業をして速に隆盛ならしむる一つの方法であるまいかと考へるのであります、もう一つには今度博覽會が開會の翌日實地見物した、鐵鋼のことに付て氣が付きましたのは以前の博覽會に較べますと製鐵所が殊に此鐵鋼のことを知らしめると云ふ御趣意からでござりませう、大變金を費して色々な御設備があつて誠に結構に感じました、併し直感しました感じはどうであるかと云ふともう少し雄大な出品を爲して戴きたかつた、熔鑪のモデルもありますけれども、如何にも小さく玩具が出て居るやうな感じを私は致しました、あれは中々御苦心をなされ、人間を一つ作るに付ても熔鑪との大きさの比例を取つて作つた、用意周到の御出品には相違ござりませぬけれども、ちよつと素人が見まして熔鑪と云ふものは斯う云ふ雄大なものか、斯う云ふ仕事をやつて居るものであるかと云ふ感じをもつとグラウンドに、雄大に示して戴きたかつたと思ひます、併し左様に申しますれば日本鋼管會社のはどうであるかと云ふと極めてプアーであります、是は財政上の都合から起りましたので心持はもつと立派なものを出したかつたのであります、自分の會社のものもイムプレツシューなものを出したら宜かつたらうと考へて居ります、それでもう今回は致し方ありませんけれども、今後、折がありましたならば各自此關係の者が國民一般に此事業の如何なるものかと云ふことを能く諒解せしめ得るやうに平易に入り易いやうに導いて行かなければならぬものと痛切に私は感じました、其感じを皆様様に申上げて置く次第であります。

それからもう一つ是は専門のオーソリティーの各位に素人の御要求、御希望を申し上げたいのであります、先刻來お話中にも出ましたやうですが、日本に於ける砂鐵、是が申すまでもなく皆さんが非常に熱心に御研究を絶えず、怠らざりやうになつて居りますことは陸ながら伺がて居りますけれども、今以て此料理法が見附ちぬと云ふことは如何なるものであらうか、誠に残念であると思ふのであります、横堀君は國産品は總て原料から作らなければならぬ、それが實際であると云ふことは私も同感で誠にさうだらうと思ふ、此處に立派な魚が泳いで居る、併ながら皆様方がまだ料理法の御工夫が出來ぬと見えましてうまい………まあうまいかどうか知れませぬが、兎に角之をうまい魚として是非早く我々に食はして戴きたいと思ふ、無理な御註文かも知れませぬけれども、何だかあれだけの大魚が逃げても行かず、何百年も据つて居るけれども、之をどうとも出來ぬと云ふのは如何にも残念であります、どうか私共の存命



中に此大魚をお料理下さるやうにそれだけの希望を申し上げます。(拍手起る)

○盧成章君 今度私は丁度上海から太平鐵鋼の人と一緒に参りまして、丁度今度好い時期に参りまして御講演や色々御意見を聞きました、大變喜ぶのであります、私は初から英國へ行つて色々鐵と鋼の方を研究したけれども、残念ながら今御承知の通り支那は色々の鬭争の爲に一つの製鐵所も働いて居りませぬから、今従つてあんあんと鐵鋼業の日本に對して貢獻することを一生懸命努力して居ります、どうぞ宜しく。……(拍手起る)

○濱田彪君 私は元來専門以外でありまして、此席に相應はしい問題を持つて居ないのであります、併し御指名を戴きまして何か申し上げなければならぬのでありますから、ステイールキヤステイングの傳授料五十萬圓と云ふ御話をちよつと申し上げたいと思ひます。

それは一昨々年の事でありまして、海軍の潜水艦に用ひます三千馬力のディーゼルエンジンに使ひますステイールキヤステイングに付ての話であります、三菱内燃機會社が其三千馬力のマン式ディーゼルエンジンを請負ひましたのですが、其ステイールキヤステイングが非常にむづかしい、獨逸の「マン」で御承知の有名なるフィツシャーで出来る程度に薄い……むづかしいものにデザインされて居るのであります、而して戦時中は非常にフィツシャーも忙しいので、全部フィツシャーだけでやる事が出来なかつた、そこで左右同じやうになつて居るシムメトリーのものとは比較的易いから他のステイールメーカーに注文して、兩方のエンドのシムメトリーになつて居ない一番むづかしいもの、シリンドラーでもソールプレートでも皆むづかしいもの丈けをフィツシャーに注文して拵へさせて、中央部のものを他の二流のステイールメーカーに注文して作つて居つた位のむづかしいものであります、丁度戦後に償金の代りに各國で分取した機械の中に日本に數臺マンのエンジンが参つて居りますが、拵へた當時には立派なものであつたにも拘らず日本に着いて能く検査をして見ればフィツシャー以外で作つたものはシーズンクラックト申しますか、クラックが這入つて居つて使用に堪へない、フィツシャーの作つたものだけがクラックが這入つて居ない、其れと同種の鑄物を私の關係して居る工場で作ることになりまして、研究して見ました所が、どうにか出来さうであると云ふことであります、ところが當時海軍の四部長であつた齋藤博士の御意見では私共よりも一年前に川崎造船所でも矢張り同様のものを御作りになることになつて居つたのであります、が一年前から始めて居つて今日まで川崎造船所で出来ない、それだから到底むづかしくて日本では出来ない、だからフィツシャーに注文して見やう、さうしてフィツシャーに注文すると同時に其優秀なる技術をも日本に輸入したら非常に宜しからうと云ふのであります、斯う云ふ譯で内燃機會社ではフィツシャーに注文しなければなるまいと云ふことになつて居りました、併し私共は自分でどうも出来さうだからと云ふので結局船一艘分即ち三千馬力の二臺ばかりでなく今後も亦さう云ふエンジンを作らなければならぬだらうからして、三菱造船會社でも試み、又フィツシャーにも注文し、萬一三菱で出来なければフィツシャーのものを使はう、若し幸に出来ればどちらが先に出来たものを使つて、あとは豫備として置かうと云ふやうなことで先方に掛合をしたのであります、ところが……其品物は個數として約六十、ウェートで三十噸ばかりであります、値段が十三萬圓ばかり、一噸四千圓以上になつて居るのであります、さうして傳授料は驚く勿れ四萬磅を呉れ、併し三人ばかりこちらから稽古に人をやつても宜しい、レクチュアしてやらう、と云ふのであります四萬磅だとは何だ馬鹿を言へ桁間違つて居るのだらうと……更に交渉致しました處精々勉強して三萬六千磅迄にまけやうと云ふのですから全く桁間違でないことが分かつた四萬磅と云へば其當時は四十八萬圓ばかりで約五十萬圓です、當時川崎造船所では一箇年前から始めて居られ、もう鑄物二百位を作つて、まだ一つも完全なものが出来て居なかつた、さうして最初は一番簡単なやさしいものから始めて第十六番目までは鑄物で皆不合格、第十七番目に出来たものが鑄物丈けを合格したので機械仕上をして見るとクラックが入つて居ることを發見して亦不合格になつた、斯う云ふことで一年間引續いてやつて居つたので、齋藤博士が日本では到底むづかしいと言はれるのも無理もなかつたのであります、併し私はサイエティフライックに研究して行けば出来ぬことはあるまいと云ふ信念を以てやることにして、やつて見ました所が、果して最初のやつは失敗、それから更に進んでもう一つやつて見ると云ふとまた失敗、丁度梅雨期になりましたから暫



く中止してそれが済んでからやつて見るとまた失敗、けれども其間に種々科學的研究を遂げまして遂に第四番目から全部するするとうまく行つてしまつて、さうして遂にフィツシャーに五十萬圓も拂はず先方に注文もせずにしたのでありますが、如何に技術が尊いものであるか、高いものであるか、練習費と云ふものが高いものであるかと云ふことと、それからサイエントフィツクに能く研究して行けば世界の有名なるフィツシャーにも負けなくて出来るものだと云ふことを感じましたのであります、是だけのことをちよつと御披露まで……(拍手起る)

○大塚榮吉君 御指名を受けまして私は一寸廣告をしたいと思ひます、御承知の通り東京商工會議所が主催で今大禮記念國産振興東京博覽會を開催して居ります、而して此博覽會の火元は工政會が抑々國産振興と云ふのを始めて主唱したのに基因して居ります、是を始めましたのは矢張我々が建議案を持つて行つて、それから國産振興會と云ふものが出来て、商工會議所に持込まれて、會議所がそれを買込んだ、所が商工省でも買込んで、今日の如く博覽會をやるが宜いと云ふ、斯う云ふことになつたのですから、矢張り皆さん工政會の會員でお出でになる皆様は矢張り發起人の一人ですから、どうか他人と思はずに大いに發展するやうに御配慮を願ひたいと思ひます、それで今度の博覽會には私は出品員委員長とか常任監査とか色々な仕事をして居ります、自分の考で今までの博覽會にないことが二つあるだらうと思ふ、其一つは先程來お話のあつた如く官廳出品が今度は非常に多い、第一番に正門を這入りませれば右の方には八幡製鐵所の堂々たる建物があつて、そこに活動寫眞までお使ひになつて内容をお示しになつて居られる、それから文部省の特設館があつて、高等工業の製品などを並べて明日から開會することになつて居る、大禮記念館の左の方に行きますと商工省が年々奨励金を出して、發明奨励をして居られる其研究品が並んで居る工業研究館がある最も國産振興の主なるものは第二會場であります第二會場には陸軍の國防館、海軍の航海館、國防館の中には未來の科學戰爭を豫想して色々な設備があります、茲には普通の樺太館、臺灣館、北海道館、朝鮮館などと云ふものがあります、機械館の中には主として是は東京方面の出品が多いのでありますが、相當の陳列がしてあります、斯う云ふ具合で其外專賣局が煙草の製造までもして見せると云ふ今までになく諸官署が矢張り公衆に宣傳することの必要をお認めになつて、色々な出品をしてお出でになることが、是が一つ、次には今までの博覽會には必ず参考館として外國館とか云ふ名前に於て外國の優秀なものを持つて來てお前達が幾ら威張つたつて俺達には適ふまいかと云ふやうな顔をして我々の鼻柱をぎやんと折られたのですが、今度は一つもさう云ふものがない、それだからまづいものでも隣りに良いものがなければ良いやうに見える、此點に於て今度の博覽會には我々が大いに意を強うして居るのですが、皆様も勸進元のお關係があるのだから宣傳に付て御配慮を願ひたいと思ふ、次に先程御注意があつた關稅の問題に付ては、實は此のことに付ては不審に堪へない、是非斯界の大家のお寄合ですから御教授を願ひたい、それは今まで今泉さんあたりが大いに御盡力になつて、關稅を引上げると反對に鐵の値が安くなつて居る、所が本年の春議會が解散されて、新に、新規に選舉せられて茲にお出でになる横堀博士も代議士でお出でになつた、さう云ふことで鐵の關稅の改正が先づ早くとも本年の暮の來るべき通常議會までは出來ない、斯う云ふことになつたら意外にも鐵がどんどん高くなつてしまつて、我々はどうも關稅が改正になつて上つたら高くなるのが當り前だ、斯う思つて居つた、關稅を改正して關稅が高くなると反對に鐵の値は下つて來る、今度は解散になつて關稅は上らぬ、斯う云ふことになると鐵の値は高くなつて來る、斯う云ふやうに普通の經濟の原則に當嵌らないやうなことになつて居る、是はどう云ふものであるかお教を願ひたい、併し當らぬかも知れませぬが、私の想像を申し上げますれば外國人がお前達の鐵の關稅を上げても駄目だ、上げて俺達は安く賣つてやる、以前よりも安く賣られる、併し今度の選舉の結果政友會と民政黨が殆ど伯仲した、そこへ社會民衆黨とか、勞農黨と云ふやうなものが八九人も出て來た、さうすると斯う云ふ代議士が居る中はどうも關稅改正などと云ふことは當分出來ない、さうすれば税を上げさせまいと思つて安く賣つて居つたが、もう鐵の關稅を上げる氣遣ひはないから、そんなことをして損をして賣る必要はないと云つて、反對に上げて來た、さうすれば日本の實業者が税が上つた以上にお利益があると云ふことを想像するのでありますが、私の想像が當るか當らぬか、皆さんからの一つお教を願ひたいと思ひます。(拍手起る)

○會長鹽田泰介君 それでは是で閉會いたします。

午後九時閉會